



鮎 白山松哉

6 日本漆工会

《漆絵帖》 一帖

大正四年（一九一五）

紙本漆絵

本紙各一九・三〇七×一六・二〇五

大正の大札に際して日本漆工会が献上した漆絵の画帖。同会は明治二十四年（一八九二）に柴田是真や池田泰真、小川松民ら漆工が中心となって設立された団体で、昭和十八年（一九四三）まで存続し、隔年で漆工競技会を開催するとともに会報を定期刊行するなど、国内の漆工芸の発展に大きく寄与した。本作は、巻頭に同会の名譽総裁である田中光顕による奉祝歌、名譽会員で書家の野村素介による奉祝詩の色紙を、続いて漆工家では当時、唯一の帝室技芸員であった白山松哉（一八五三～一九二三）を筆頭に、総勢二十三名の漆工家が各一図を担当した漆絵の色紙を収める。巻末に各画題と作者名が記される。漆絵は、是真が明治初期に素材や技法に工夫を凝らして様々に描いたものが知られ、本作は、その後の世代の漆工家たちによる漆絵である。漆絵に日本画の顔料を併用するなどの工夫が見える。



表紙



流に菊 六角紫水



巖上乃松 赤塚自得

- 〔巻末に記された画題と製作者〕 () に号を補記した
- | | | | |
|------|--------------|-------|------------|
| 鮎 | 白山福松 (松哉) | 刘穂 | 池田松三郎 |
| 鶴 | 佐々木高保 | 鳥甲 | 萩野広兵衛 |
| 大鵬菊 | 保井庄吉 (抱中) | 国歌 | 高藤萬吉 |
| 旭 | 市島浅翁 | 神路山 | 辻村延太郎 (松華) |
| 老松 | 橋本市藏 (はし二) | 塩乃山歌意 | 石井吉次郎 (土口) |
| 若竹 | 鈴木嘉助 | 流に菊 | 六角注多良 (紫水) |
| 奉祝の歌 | 亀井栄藏 (真斎) | 二見ヶ浦 | 梅澤順三郎 (隆真) |
| 巖上乃松 | 赤塚平左衛門 (自得) | 吉例 | 伊東貞文 (乾谷) |
| 鳳凰 | 植松彌太郎 (包美) | 菊車 | 矢田善四郎 (雪真) |
| 八咫鳥 | 川之邊平右衛門 (二湖) | 雲上の富士 | 堆朱楊成 |
| 宝尽し | 船橋岩次郎 (光民) | 旭日昇天 | 手塚千代吉 |
| 亀 | 清野三吉 | | |



二見ヶ浦 梅澤隆真

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

大礼 ― 慶祝のかたち

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 85

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 公益財団法人 菊葉文化協会

令和元年九月二十一日発行

©2019, The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan